

概要

大分合同新聞社では、就学前の児童とその家族をメインターゲットとしたキャンペーンを、2007年10月から実施しています。隔月朝刊1ページで掲載しているほか、各自治体との共催イベント「こどもっと!ランド」を年1~2回、「野菜大好き!親子クッキング教室」を年1回開催しています。事業主体である新聞社に加え、地元幼稚園、小児科、共済関係、デパート、商業施設などが年間協賛社です。

本紙紙面では、読者アンケートで寄せられた声などを内容に反映させながら、子育て情報を提供しています。イベントは各自治体子育て支援課の協力のもと、地元リーダーをボランティアとして集め、実行委員会を立ち上げて実施しています。来場家族ごとの満足度を高めることを目的に、親子で楽しみ、遊び+アルファを持ち帰ってもらえるイベントを心掛けています。

企画が生まれた背景や意図・ねらい

出生率を急に上げることは難しくても、子育てしやすい環境づくりが少子化に歯止めをかけるきっかけの一つになると考えています。家族だけでなく、周囲の人々、地域の環境、企業の理解などを深めるため、紙面やイベントを通じて新聞社が継続的にメッセージを発信するキャンペーンを立ち上げました。キャンペーンのタイトルには、「こどもっとと遊んで!もっと関わって!もっと〇〇!」との思いを込めています。新聞社が読者獲得に苦戦している子育て世代に対し、新聞を読むことで有益な情報を得られ、欠かせないメディアであるとの認識を持ってもらうこともねらいの一つです。

反響

紙面に対して読者からは「次回はこんなテーマを!」「〇〇なことでは悩んでいます。ぜひ次回の特集で!」などといったリクエストが寄せられています。イベントでは参加家族の楽しそうな笑顔が終日あふれ、企画継続の必要性を毎回感じています。参加者アンケートでも「息抜きになった」「ママ友が出来た」といった意見をいただくなど好評で、定期的な開催を望む声が多数集まっています。成功に終わった後は、それまでバラバラに活動していた子育てネットワークが再構築され、次年度から地域独自に「こどもっと!」的イベントを開催するなど、よい効果が出ているとの報告も受けています。

このキャンペーンの趣旨に賛同し、初期から継続協賛していただいている企業も多数あります。協賛企業からは、直接的な効果以上に賛同企業としてのイメージアップにつながると評価されています。



左上=「こどもっと!ランド」親子イベントの様子
左下・右=「こどもっと!ランド」館内あそびの様子

子育てしやすい環境づくりで
少子化に歯止めを